

電報の心得(四)

平郵便局員談

斯ふ言ふ同一名稱の地名は、單に、若松と高田許りではありませぬ。四萬三千方里の帝國領土の東西に、散在して居る同一名稱の地は尠くはありませぬ。
更に厄介なことは、同一の府縣に、同一名稱の地があることでもあります。單に、ニイガタケンナカゼツと言つただけでは、北蒲原郡の中條や、中魚沼郡の中條や、或は南蒲原郡の中條や、わからぬことです。又、ナガサキケンタカシマと申しても、西彼杵郡の高島や、北松浦郡の鷹島や、片假名ではわかりませぬ。
俺が出す電報は、福島縣の若松だ。高田は新潟にきまつて居る。仰つしやらずに、あなただの大事な電報ですから、名宛には府縣名なり、場合に依つては、郡名を書いて頂きたいものです。
何だ、伊藤博文や、井上馨は故人ぢやないか、と言つてしまつて仕舞つたんで、電報配達はつとませぬ。なるほど、元勳の伊藤公や井上侯は、最早故人に違ひありませんが、天下には井上馨や伊藤博文と言ふ人は尠くありません。甚だしいのにならぬ、町内に川島武夫や加藤友三郎等と言ふ人が二人も三人もおります。配達掛は随分と困ります。それでも配達せなさいでは役目が勤まりませぬ。東京の様な大都會では、市内にも郊外にも同一の町内に同番地、例へば一八番と言ふ様な番地の家が二百戸も三百戸もありません。そんな様な譯です。番地なしの電報でも來やうなものなら、それこそ配達掛は泣かれます。西に十町、東に八町と、配達掛はかけ廻らねばなりません。それ

でも捜し當てれば、嬉しいものですが、廻つても廻つても尋ねることが出来ないときは、全く精根がつきて仕舞ひます。配達掛も、さることながら、發信人は自分の出した電報の返事を随分と待つて居られることだらうと思ふと、た氣が毒でなりました。面倒臭いのを厭はずに、電報の名宛には、番地を缺かざる様に願ひ致したいものであります。

小商店員募集

尋常小學六年修業若クハ高等二學年修業程度ノ者(十五才未満)履歴書本人持參ノ事
平町四丁目十五
工業商會
電話二一八番

松ヶ岡公園に
春は訪る

三春行樂の巻こ化した
春の情景

松ヶ岡公園 畔池園公岡ヶ松 番六二二話電

磐城、平町電七〇二
大塚支店
製靴部 運道具部

母性愛大雄篇
愈々公開近し

オパールビル

六十歳以上の御婦人
木戸無料
平館

三井呉服店

新館落成披露 大賣出し

織物界の新記録を作る獨特の安賣

品價特
小供ホロカヤ 七 十 錢 千本限
白キヤ 花見足袋 壹足 十 八 錢 (一萬足限)
ラコヤ 花見足袋 壹足 十 八 錢 (一萬足限)
小巾英ネル 壹反 一圓十錢
紺 紺長尺 壹反 一圓九十五錢
着尺モスリン 壹反 三圓八十錢
外に小紋錦紗、模様錦紗、本セイル各種豊富に取揃有り
◎ 新型花見洋傘各種

人絹應用染織品宣傳會 三井呉服店新館に於て

- 錦丸 帶 十 五 圓 十 錢 以上
- 羽二重 帶 三 圓 九 十 錢 以上
- 全友 染 五 圓 五 十 錢 以上
- 金紗 八 掛 二 圓 五 十 錢 以上
- 白古濱 四 丈 物 拾 圓 十 錢 以上
- 博多 男 帶 三 圓 十 錢 以上
- 金紗 半 丈 二 圓 十 錢 以上

將に純絹織物を凌駕せんとして居ます。天然絹糸を人造絹糸に見分の出来ぬまづ精巧を極めて居ります。自然の虚に乘じ暴利を貪る不正奸商の時々御得意様に抄らす御迷惑を掛けて居る事々耳に致します。かゝる危険な時機に於て人絹製品數百種を取揃へ下店は幸先してこの際是非皆様の御參考に見頂きたいのです。

神戸海上運送火災保險會社 平代理店
東洋海上火災保險會社
共保生命保險株式會社

平町仲間町 勤人向	一〇月〇〇	六、六、三ノ三間
同 柳町 同	七、五〇	六、六、二ノ二間
同 同 同	六、〇〇	六、四、八ノ二間
同 同 同	六、六、八ノ三間	六、六、八ノ三間
同 同 同	八、〇〇	其他風呂場、物置附
同 小島 勤人向	八、五〇	八、六、六、四半ノ

平町白銀町 (電話三二三番)
加藤丈夫營業所

● 皆様方に是非御覧願ひたい春ワイシャツ
特價物 一圓二十錢
買切れにならぬ中に
紳士用 洋傘
婦人用 洋傘
春帽子 各種
平町四丁目 (電話百四十番)
鶴屋洋品店

花は櫻木 平町縣社通
料理は イワキ 美味で評判のイワキ食堂
電話四六〇番

◎ 家庭になくてならぬもの
寒暖計 體温計 各種
イマツ蠅取粉 小三〇 半ボンド一、二〇
計量器 指定販賣人 西村屋藥局
電話三三番

婦人病の血道の妙藥
スポンヂン
強壯の効 著大
血を 肉を 肥やす
定價 圓壹・圓貳・圓伍
代理店 山邊野藥局
平町五丁目

眼。鼻。舌の喜ぶ
一の井の洋食
特に注意致し居ります。是非御試食下さい。
國際料理研究所特派講師 杉林太美雄